



梅雨時期の安全運転



梅雨の季節がやってきました。雨の日は視界の悪化や路面が濡れて滑りやすくなるなど、悪条件が重なります。晴れの日よりも速度を落とし、早めのブレーキを心がけましょう。

1 速度を落として走行しよう

路面が濡れていると制動距離が伸びるため、危険を感じてブレーキを踏んでも間に合わず事故につながるおそれがあります。

雨の日は速度を落とし、車間距離を十分とって慎重に走行しましょう。



2 安全確認は入念に!

雨の日は、ミラーについた水滴や他の車の水しぶきなどで、晴れの日よりも視界が悪くなります。

進路変更時などは安全確認を入念に行い、周囲の車や歩行者を見落とさないよう気をつけましょう。



3 歩行者のそばは減速しよう

歩行者のそばや店先を通るときは、速度を落として、泥や水をはねないように運転しましょう。

また、深い水たまりに入ると、ブレーキが効かなくなったり、効きが悪くなる場合があるので、できるだけ避けて通らしましょう。



4 危険な場所は避けよう

大雨の際は、雨がおさまったあとも、地下道路など浸水の危険がある場所の通行はなるべく避け、河川の近くなど水害の危険がある場所には近づかないようにしましょう。

また、地盤が緩んでいるおそれがあるので、山道などでは路肩に寄り過ぎないように注意しましょう。



【公開取締り情報】

●6月13日(木) 10:00~12:00
速度取締り 魚津市木下新地内(県道)

●6月14日(金) 10:00~12:00
速度取締り 滑川市栗山地内(県道)

1 県内の交通事故発生状況(6月11日現在)

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	785	7	898
昨年	801	14	894

2 交通事故死者の年代別

年代	64歳以下	65歳以上	合計
死者数	2	5	7
構成率(%)	28.6	71.4	100



- 県警のホームページにも掲載しています。
- 毎月第二・第四水曜日(祝日、年末年始を除く)に新情報をメール配信しています。(申込方法は県警HP参照)
- 二次元コードからSD情報のHPに直接アクセスできます。→

